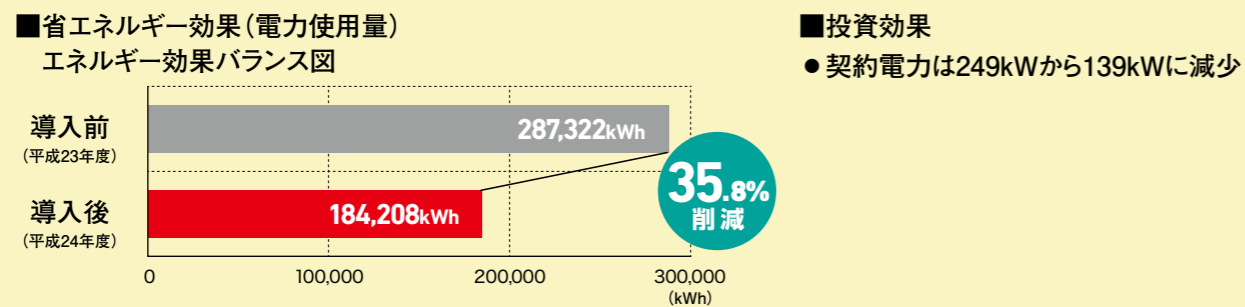




前年の活動をベースに スタッフ全員で省エネ活動を継続

DATA ▶ 省エネ効果



取組の経緯

- 当社は、環境に優しい企業活動として、「節電」「節エネ」「節CO₂」を通して、最大の地球温暖化原因と言われているCO₂削減を目指しています。
- 当施設では、入場したお客様はエントランスフロアを通り抜けてフラワーガーデンに向いますが、以前は常に空調を入れたまま、扉が開閉するたびに冷気が外に流れ出ていることなどから、施設の大きさの割にはエネルギー消費量が大きく、広い園内を管理するためには各施設の電力使用量やデマン



エントランス付近の売店

ド値を把握したうえでの計画的な対策が不可欠と考えていました。

省エネバリアとその克服

- 問題は電力データの通信環境でした。以前、他社のデマンド監視システムの導入を試みましたが、データ通信がうまくいかず断念した経緯があります。このような中、日本テクノ(株)からの提案で電力情報をリアルタイムに表示する装置(ERIA)を確認したところ、問題なく送受信できることがわかったことから導入しました。



デマンド監視装置

今後の取組計画

- 「ERIA」導入から4年目。引き続き、前年の活動をベースに、スタッフ全員で省エネ活動を継続させております。レストランで使用するオーブンの予熱など、時間調整が可能なものはピークの時間からずらして立ち上げるなど、個々の設備の使い方も見直しています。
- 今後は、ガスや水道代など、電気以外の部分にも目を向けて、総合的な省エネ管理をしていきたいと考えています。考えられることは何でも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

具体的な取組概要

見える化で一日のスケジュールを管理

「ERIA」の導入をきっかけに、スタッフの協力を得ながらさまざまな省エネ活動に取り組んできました。「ERIA」で確認したエネルギー使用量をもとに一日の目標を立て、その数値を例年の来客数や気温に合わせて時間ごとに割り振っていく「冷房」「照明」「換気」のスケジュール表を作成し、冷房と照明、換気の時間を施設ごとに決めて各部署に配布しています。ただし、目標値はあくまでも目安であり少し厳しく設定して、状況に合わせて対応できるようにしています。スケジュール表の配布とともに、各部署での担当者も決め、空調・照明のオンオフ、窓の開閉を担当制にすることで、一人ひとりのスタッフに責任感が生まれました。

見える化による工夫

電気の「見える化」により省エネ意識を強くもつようになると、様々な工夫が生まれるようになりました。開園前に室内にこもった暖気を外気と入れ換えてから冷房を入れることや、室温の設定も入口付近は弱めに、ショップやレストランなどお客様が長く滞在する場所は強めにするなど工夫するようになっています。また、エントランスフロアは、排煙窓を開けて通気性を向上させることで、空調の稼働時間を短くしたり、事務所や休憩室などバックヤードでは、天井の点検口を開けて空気を循環したり、熱がこもりやすい天井の温度を下げるとともに、空調への負荷も抑える工夫を実践しています。

他の事業者でも活用できるポイント

水道タンクの仕組みの変更

以前は、水道のタンクに水を送るポンプが自動設定されていたことから、水量が減ると自動的にタンクを満杯にする仕組みになっていましたが、タンクの容量には余裕があり常に満杯にしておく必要はないことから、自動運転を止めて夜間にまとめて水を貯めるよう変更しました。変更によって、昼間はデマンド値を気にせず、空調や照明を優先的に使用することができるようになりました。

担当制導入による責任感

空調・照明のオンオフ、窓の開閉を担当制にすることで、一人ひとりのスタッフに責任感が生まれました。担当制を導入した当初は指示により動いていましたが、徐々に天気や気温などをみながらそれぞれが判断するようになりました。



業種 娯楽業(公園)

【会社情報】

- 所在地 / 〒069-1218 夕張郡由仁町伏見134-2
- 代表者 / 取締役社長 平野 通郎
- お問い合わせ / TEL 0123-82-2001
- URL / <http://www.yuni-garden.co.jp/>

北海道夕張郡にある日本最大級の英国風フラワーガーデン。4月末から10月下旬までの開園期間には、サクラ、ユリ、アジサイ、リナリア、コスモスなど、季節ごとにさまざまな花々が咲き誇ります。園内にはレストラン、ショップなどが併設、ライブや料理体験などのイベントも楽しめるほか、花いっぱいの園内での結婚式も好評を博しています。

